

! このウェブサイトはJavaScriptをオンにしてご覧下さい。 Enable JavaScript in your browser.

ARCT.jp アートリバイバルコネクション東北

メールにてお問い合わせ

      日本語 | English



私達は文化を通して東北の復興を応援していきます




東日本大震災を機に失われた文化・芸術に関するひと・まち・場の再生と
東北復興に向けた諸活動にアートを通じて寄与するため、また、それに必要なネットワークづくりを推進するために、
Art Revival Connection TOHOKU (ARC>T)の活動を開始します。

Art Revival Connection TOHOKU

 **事務局ブログ**

Art Revival Connection TOHOKU

 **活動報告ブログ** 

 **支援のお願い**

調査

私たちに出来る事を知るための情報収集をします。避難所や学校などで必要とされる、ニーズを調査します。調査と同時に私たちに出来ることの発信もしていきます。この活動は既に活動している様々なネットワークと協同行っていきます。
※詳細準備中

出前

調査活動で収集した情報をもとに、ニーズに応じてアーティストのスキルをお届けします。例えば、俳優が絵本の読み聞かせや紙芝居をしたり、ダンサーがストレッチ体操を紹介するなど、こころとからだのほつとするひと時を提供するための活動を行います。
※詳細準備中

創作

東北での表現、東北からの発信をあきらめたくはありません。そして、やがてこの地で必要とされる時のためにも、作品を創りたい。人やまちが元気になるように、作品の上演や上映、展示などをおこないたいと思います。また、人びとの声に耳を傾け、この地の「物語」を紡ぎます。この出来事を語り継ぐことは、表現者にとって今後のひとつの大きな役割だと考えます。
※詳細準備中

招聘

今、私たちは作品を世に出す機会を失っています。あなたのまちで作品を上演させていただけないでしょうか。会場提供や交通費、宿泊費などの支援をお願いします。
※詳細準備中

仕事

劇場閉鎖、公演中止、イベント自粛の影響で、多くの舞台技術者や俳優が仕事を失いました。道具や照明などの各種スタッフワークやナレーションなど、ぜひご用命ください。例えば、大道具スタッフなら仮設住宅の建設にもその技術が大いに活かされるはずです。
※詳細準備中

※上記の活動はこの場を利用して、随時ご報告致します。またこれらの活動をおこなうために、情報とネットワークのハブとして事務局を運営します。

 **みなさまへ**

3.11以降、熱い激励とアドバイス、そして貴重な情報などをたくさんお寄せいただき、感謝するばかりです。こちらでは、別れや再会、困惑や決断、希望や絶望・・・さまざまな涙がとまらない日々がまだ続いています。みなさまからこころがこもった多くの“ことば”を頂戴し、力が湧き出ています。本当にありがとうございます。

今、私たちはこの状況の中、改めて表現者としての姿勢や使命、そして自分の基本信念を見つめなおす機会ともなりました。雄大な奥羽山脈を背骨とする山々、森、大地、そして海が東北の財産です。しかしまた手ごわい相手でもありました。長い歴史の中で、東北人は逞しく自然と共有することを学び、幾多の変革にも耐え、工夫と知恵を凝らして生きる営みを続けてきました。多くの先輩たちが築き上げたこの豊かさの中で、私たちは芸術に関わりながら生活できる喜びを感じてきましたが、これからは私たち自身が立ち上がり、新たな営みと歴史を創っていかなければならないのだと肝に命じています。

私たちはコミュニケーションアートに関わる者として、力量と志を試される時なのだと感じています。これは、私たちにとっても新たな経験の場であり、未知への挑戦です。今やれること、これから必要とされること、未来への夢に向かって、アートの底力を信じながら、よく見、聴き、考え、準備し、焦らずにそれぞれのペースで、支え合いながら行動に移していこうと思います。アートでつながるこころの復興を目指して、これからのそれぞれの活動が実を結びますようお願いいたします。

東北の復興にいくらでも寄与できる支援ネットワークとして「Art Revival Connection TOHOKU」をここに設立します。
みなさま、東北に力を貸してください。



ご支援・ご寄付

銀行名 : 三菱東京 UFJ 銀行

支店名 : 仙台支店

口座番号: 普通預金 0230275

口座名 : ART REVIVAL CONNECTION TOHOKU 代表 樋渡宏嗣

(アートリバイバルコネクショントウホク ダイヒョウ ヒワタリヒロツグ)

Bank : The Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.

Branch : Sendai Branch

Beneficiary's Name : ART REVIVAL CONNECTION TOHOKU

Account No : 314-0230275

Swift Code : BOTKJPJT

Address : 2-1,Chuo 2-chome,Aoba-ku,Sendai,Miyagi 980-0021 Japan

そのほかのご支援のお申し出は、[こちらよりメール](#)でお願いします。

・頂いたご支援は、事務局・ネットワークで検討し、相応しい形で利用させていただきます。

・振り込み手数料はご自身のご負担となります。ご了承下さい。



ロゴマークを使ってください



▶ [ロゴマーク使用のご連絡](#)

ARC = 虹。ARC>T は東北へ繋ぐ虹。西から東へ、虹の架け橋。

一緒に文化で復興しませんか？ベルギー在住の阿部玲子さんにデザインして頂いた ARC>T のロゴマークです。「いろいろなジャンルのアーティストが REVIVAL という名の通り、復興へ向けて協力し合い、刺激し合い、被災されている方々と一緒に一喜一憂し、励ましあってもらいたい」

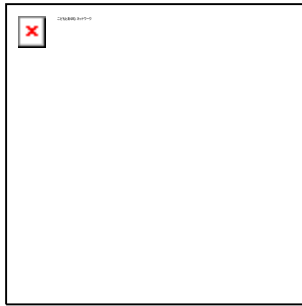
今後文化での復興活動をされる際に、このロゴマークを使用しませんか？ご利用頂ける場合はこちらより事前にお知らせください。活動やイベントの場合は、このホームページ上でお知らせさせていただきます。

東北のアーティストが一つの輪となって、希望や夢を与えていきましょう！



The copyright of all original image belongsto the author, and it is protected by the Japanese country copyright law.

Copyright(c)2011 Art Revival Connection TOHOKU All Rights Reserved.



こどもとあゆむネットワーク

東日本大震災に遭ったこどもたちのために

はじめに

地震に遭ったこどもたちは、心に何らかの影響を受けています。ぼくらはそのこどもたちが早く日常に戻るよう支援していきます。

そして、こどもたちの笑顔は、被災地にとる灯りだと思えます。

その灯りを消さないように、「絵本」「おもちゃ」「文房具」「あそび」を届け続けます。

「灯りをともそう」

失ったいのち
生かされたいのち
みんなのいのちに
灯りをともそう

流れる涙と
生きのびる勇気と
こどもたちの笑顔に
灯りをともそう

あゆむための考え

- ・こどもたちと寄り添い、顔が見える関係で共にあゆんでいきます。
- ・現地に赴き、現地の人と連携し、そのニーズを踏まえて活動をします。
- ・ものを有効活用して頂ける方に送ります。思いを届けます。
- ・購入できるものはなるべく被災地の商店より購入します。
- ・趣旨に賛同いただける様々なジャンルの団体と連携し、オープンな活動を展開します。
- ・復旧・復興に向けて3年間を区切りとしてゆっくり活動します。

あゆみ方

第1段階:日常を取り戻すための「復旧」プロセス

こどもが落ち着いて過ごせるようになるまで、静かに灯りをともす活動を行います。被災地の方々との信頼関係を築き、協力体制をつくります。

【1】御用聞き

- ・ 被災地のこどもたちのニーズを把握するためにヒアリング活動を行います。
- ・ 刻々と変わる状況に応じた活動をするために、被災地のこどもたちを応援する現地の方々とのネットワークづくりを行います。

【2】募集

- ・ 被災地で必要な物の情報を発信し広く募集します。
- ・ 購入できるものは被災地の商店から購入するため、資金を集めます。

【3】お届け

- ・ なるべく顔が見える関係を築いて、こどもたちにものを届けます。
- ・ 物だけでなく、遊べる人・読み聞かせのできる人・人形劇のできる人なども届けます。
- ・ 行政からサポートされにくい、個人避難の人たちへも届けます。

第2段階:再生のための「復興」プロセス

多様な人が現地を訪れるイベントも取り入れ、笑顔を取り戻す活動を行い。地域再生のための復興を目指します。

【4】こどもの心のケアと笑顔のために

- ・ こどもの心をケアするような物語に触れたり、自分を表現したりする活動を企画します。(アート・演劇・人形劇・音楽など)
- ・ 現地に泊まって読み聞かせをするといったボランティア・ツアーを実施します。

【5】地元商店ファンド

- ・ 募金・オークションなどで支援金を募り、被災地元の商店から物を買って地元のこどもたちに届けます。

【6】保育所・幼稚園・児童館・図書館再生ファンド

- ・ こどもの日常を支える、保育所・幼稚園・児童館の再建と再構築を支援します。
- ・ 保育所・幼稚園・小学校などを再建する際に、全国の力と意思を集めて「日本一」の図書室を作ります。そのための資金を募り、本を選定し、購入します。
- ・ 他ジャンルの文化活動と連携できるような図書室・図書館を目指します。

現在、募集リスト

(11.04.23 現在)

- ・ 御用聞きを反映し内容を更新いたします。
- ・ 絵本は募集限度を決めて、複数回に分けて募集しております。(仕分け人数・場所に限りがあるため)
- ・ 今後も物資を募集する予定ですので、ごゆっくり準備いただくと幸いです。

本

- ・ 赤ちゃん絵本
- ・ 絵本

- 児童書(小学高学年まで)
- 漫画(単行本。シリーズは全巻揃っているもののみ。)
※月刊絵本(こどものともなど)や傷んでいる本は募集を一時停止しております。

文房具

- 絵を描く道具(クレヨン・スケッチブック)
- 折り紙
- かわいい文房具
ノート、下敷き、ペンケース、消しゴム、鉛筆削り、塗り絵など ※未使用品のみ

その他

- フェイスタオル(新品)
避難所で重宝しています。また、梱包時にパッキング代わりに入れます。

御用聞き結果による募集

※お心当たりがある方は、まず、お問い合わせ頂けると幸いです。

保育園再建のための機材

- パソコン
(3台寄付を頂きました。ありがとうございました。まだ募集しております。)
- コピー機 2台
- FAX 2台
※保育園が津波で流された保育士さんからのご要望

保育園運営のための物品

- キーボード(楽器)
- デジカメ
- カプラ(1000ピース)
- シャン本玉
- かわいい下敷き
- かわいい保育室用かけ時計(保育室にかける)
- すてきな本棚

その他の募集

本の仕分けボランティア

- 全国からの絵本を仕分ける作業
絵本を対象年代ごとに下記のように仕分けられる方。平日10～16時までの作業を週2日程度を想定しています。作業場所は宮城野区卸町です。交通費等は支給されません。昼食もご持参ください。

大口募集

- 上記以外のもの(木のおもちゃ・ボードゲーム・新品の下着など)を大口で寄付して頂ける方はお問い合わせの上、お送り下さい。

送る物のお願い

ご自身がプレゼントされてうれしい内容・状態のもの。

送る物の受付期間

- 4/30(土)までメールで受付中です。
- 本は 10000 冊を上限に一度締め切ります。
- 今後も受付する予定です。

送る際のルール

- 次のように分けて送っていただくと、仕分けが円滑に進みます。
 - ① ちゃん絵本
 - ②絵本
 - ③児童書
 - ④漫画
 - ⑤文房具
 - ⑥その他
- もし、可能な方はさらに①赤ちゃん絵本・②絵本・③児童書を下記のような対象年齢ごとに分けて、お送り頂けると大変助かります。
 - A.0～3才(=①赤ちゃん絵本)
 - B.3～6才
 - C.6～9才(小学校低学年)
 - D.9～12才(小学校高学年)箱の外側に分かるように書いて下さい。可能であれば下記の専用の用紙に記載し、箱に貼っていただくと助かります。[送付表\[PDF\]](#)
- 送料はご負担下さい。
- なるべくグループや団体ごとに送っていただくと助かります。
- 発送時には下記の必要項目をお知らせ下さい。
団体・代表者名と住所、電話番号など(個人の場合は個人の名と住所、電話番号)

送り先について

一度、以下のメールアドレスまでご連絡をお願いします。その際には、お送り頂ける物資の内容と量をお伝え下さい。後日、郵送先の住所などをご案内します。

ayumunet@gmail.com

支援金の募集

こどもとあゆむネットワークでは、地元商店ファンドと図書館再生ファンド、また、団体の活動費(御用聞き・物資運送費などの諸経費)のための支援金を募集しています。なお、個別に支援用途や場所を限定して、支援金を寄付いただける方は、事前にお問い合わせ下さい。

<用途>主に下記の2点に使用します。

- 地元商店からこどものための物資を購入する。
- 日本一の図書館づくりの際の本を購入する。

振込先

七十七銀行仙台市役所支店

(普)5334471

こどもとあゆむネットワーク会計米倉正子

お伺いリスト

避難所、仮設住宅、幼稚園、保育園、児童館、小学校などにいらっしゃる方で、そこにいるこどもたちに必要なものがありましたら、お知らせ下さい。あゆむネットが必要なものを探します。募集リスト以外のものでも構いません。

問合せ先のメールアドレスにご連絡下さい。

問合せ先

ayumunet@gmail.com

急用な場合はお電話で。

080-6010-8959(対応時間は平日 10~14 時です。)

役員

代 表 横田重俊(全体総括)
副代表 米倉正子(会計担当)
副代表 北野 央(広報・企画調整)
世話役 谷津直樹(運搬・広報)

監 査 阿部俊昭

呼びかけ人

- 横田重俊(仙台こどもセンター・絵本と木のおもちゃ横田や)
- 米倉正子(冒険あそび場—せんだい・みやぎネットワーク)
- 八巻寿文(仙台演劇工房 10-BOX)
- 佐藤理絵(河北新報社)
- 北野央(絵本バンク)
- 谷津直樹(谷津新聞店)
- 阿部俊昭(せんだいこども博物館を広げる会)
- 横田敬子(お話工房ココット・絵本と木のおもちゃ横田や)
- 水戸雅彦(えずこホール)
- 清水千佳(ハート&アート空間 ビーアイ)
- 関口怜子(ハート&アート空間 ビーアイ)
- 前野久美子(ブックカフェ 火星の庭)
- 前野健一(ブックカフェ 火星の庭)
- 鈴木拓(杜の都の演劇祭プロジェクト)
- 佐藤ジュンコ(書店員)
- 金子きくえ(木ノ下おひさま文庫・宮城わらべうたの会)
- 渡部 三妙子(OH夢来'S)

(c)こどもとあゆむネットワーク

>高萩 様

ご連絡ありがとうございます。

経緯と状況、結果を簡単に。

12日、シングルマザーズの公演は、二兎社、永井愛さんのご厚情により実現したものです。そのご理解、ご協力に深く感謝しています。

当然のことながら、通常公演は無理の状況です。それを、「無料公演でやりましょう。避難所の人たちにも観ていただきましょう。」という言葉を受け開催を決定しました。

そして、非常に広報期間の短い中、ラジオと新聞に何度か取り上げていただいたほか、友の会のDMを使い、また、避難所に電話を掛け捲って、ご案内をしました。お陰さまで、チケットはすべてなくなり、避難所からも32人の方に来ていただきました。こちらは送迎バスも用意しました。永井さんの避難所の人たちには送迎バスも用意しようという意向によるものでした。

当日は、通常公演とは違う雰囲気を醸し出すため、ホワイエに震災後に流れたpray for japanのメッセージを多数掲示し、外の庭園には、鎮魂、そして明日への希望の灯火という思いを込めて311本のキャンドルを灯しました。

結果、いつもとは全く違う雰囲気が会場を満たしていましたが、盛況裏に公演を終了することが出来ました。前日の仕込み、当日の午前午後と余震があったにも係らず、本番中の余震はなく、ミュージックがえずこホールに微笑んでくれたようでした。

アンケートの記述欄にも、いつもと全く違うメッセージがたくさん寄せられました。いくつかを添付します。ご覧ください。なお、終演後避難所の責任者の方と少し話をしました。少し目を潤ませながら、「明日から前向きに生きる気力をいただきました」と一緒に来た皆と話したとのこと。避難所から来た方の中には80歳で初めて演劇を観たという方もいたそうです。

この時期の被災地での演劇公演開催、賛否両論あるものと思います。それを十分噛み締めた上で、開催してよかったと思っています。

新聞記事2つ添付します。

.....

水戸 雅彦 えずこホール

(仙南芸術文化センター)

989-1267 宮城県柴田郡大河原町字小島 1-1

URL <http://www.ezuko.com>

.....

2011年4月12日(火) 二兎社公演『シングルマザーズ』

お客さまアンケート自由記述欄より

[宮城県内 避難所]

・避難生活の中で、このような舞台(ステージショー)を鑑賞できるありがたさに感謝致します。
それにすごく近くでした。ありがとうございました。(50代 女性)

・避難生活がちょうど一ヶ月たちました。体育館の中は、あたたかかったが、
何も先が見えない中での招待ですのでとても楽しみにしておりました。
テレビの中でしか拝見したことのない方々にあえるのでとてもうれしく思います。(60代 女性)

・大変感動致しました。
これからも頑張っていこうと思います。(50代 女性)

[一般]

・大変すばらしい内容でした。
震災後の公演ということで、生涯心に残るものになると思います。
演劇人の熱い思い伝わりました。震災に負けず頑張ります。(無記名)

・心あるホールスタッフ、心ある演劇人、心ある人たちの手で
今日のこの観劇があったのか、と有難く観させていただきました。
内容もさることながら、心にしみました。ありがとうございました。(40代 女性)

・震災の中公演していただきありがとうございました。
落ち込んでいた気持ちも、明るくなれました。
えずこホールの方達も大変な中、開催してくださって感謝いたします。
また絶対見に来ます!!(40代 女性)

・えずこホール、永井愛さんの公演決断してくれて、本当にありがとうございました。
永井さんの公演をいつもやってくれるえずこホールに感謝します。
毎回今まで、山形からかよって見に来ています。
私の妻の気仙沼の実家も津波で流され、義母が山形の私の家に身を寄せています。
公演実行とても嬉しいです。本当にありがとう。とてもいい公演です。
311本のローソクとステキな演劇、生涯わすれられない公演になりました。(50代 男性)

・余震が続くなか、わざわざ公演を決行していただき、
また、フリーチケットにいただき、そのお気持ちに心より感謝申し上げます。
TV やラジオではとにかく気持ちが落ち込んでいく毎日。。。

今日この時間だけは夢のような楽しい気分を味わい、明日への活力とさせていただきます。
一日も早く日本人の全てが、このような素敵な舞台を安心して観ることができるようになりますように。

裏面より

出演者、スタッフの皆さん

これからもぜひ精力的に活動を続けて下さい。

そしてまたぜひぜひ!!えぞこホールにいらして下さい。

道路事情も悪く、どこで地震が起きるかわかりません。

どうか次の多治見市への道中、くれぐれもお気をつけてくださいね。

本当に本日はありがとうございました。

(40代 女性)

・震災以来、気持ちが落ち込んでいます。

一日に何度と急に泣きたくなっています。

急に音楽や演劇を見たく、聞きたく、恋しくなる時に、

えぞこホールで演劇をすると知り、来ました。

二兎社の演劇は何度も見に来ています。とてもうれしかった!!!

また来てください。そして皆さんどうかご無事で!!!!

(無記名)

・出演者の皆さま、今日はこの様な状況の中、来て頂きありがとうございました。

あの日から1ヶ月、幸い公演の行われた大原やその周辺では、大した被害はありませんでしたが、それでも宮城全体が暗く重い空気に沈み、正直、この1ヶ月心のそこから笑えませんでした。

テレビの中の励ましも安全の中から言っているだけで、何か心から励まされることはありませんでしたが、今日この様に実際に足を運んでくださり、出演者の方の言葉に本当に励まされ、涙が出ました。

ぜひまた来て下さい。このチケット代は義援金にします。

本当にありがとうございました。

(30代 女性)

・震災以来、時が止まった様な現実を受け止められない、

どこか夢の中のような日々を過してきました。

亡くなった友人がいつでも電話に出るような・・・。

同じ夢の時間なのですが、真摯な役者さんの演技に引き込まれた舞台の時間は

昼間の悪夢をしばし忘れさせてくれただけでなく、

日々の仕事を貫く姿勢を持って力強く励まして頂きました。

余震のある中、公演に踏み切った志と勇氣に感謝します。ありがとうございました。(40代 男性)

・毎日毎日ゆれていて、いやなことばっかでしたが、

この公演を見ようとオシャレしているうちに楽しくなってきました。

断水でお風呂にも入っていないのに(笑)

今日は本当にありがとうございました。おもしろかった。

がんばるので、みなさんもがんばって下さい。(30代 女性)



・今日の公演を開演して下さった事にただただ感謝です。
笑い声が響いていたのを聞いた自分も嬉しかったし、この時間、地震を忘れることができました。
社会派な問題をこの演劇を通じ、楽しく考えさせられました。
「一人一人の力は小さくても、いつかは実を結ぶ」今からの復興につながるものがあるとも思えました。
本当にありがとうございました。
この感謝が関係者の皆さま、スタッフ、演者の皆さまに伝わりますように。(20代 女性)

・ここに今日来ることをなやみました。(地震のため)
けど本当によかった。力をくれて本当にありがとう。(30代 女性)

・大地震の最中、観劇できたことに、心より感謝いたします。
この様なひとときが持てるなんて、幸せでした。
この現実の大変さ、辛さ、悲しさを忘れて夢中に楽しみました。
元気に生きる意欲をいただきました。ありがとうございました。(60代 女性)

・まだまだ完全なる復興が遠い中、「明るい世界、社会」をイメージするための
途中経過として、楽しい時間、笑いのある時間を鑑賞者皆様と共有できたこと、
えずこホールのスタッフの皆様の影の努力に感謝申し上げます。
世の中、自粛ムードですが、被災者が立ち上がらなければ日本中が活性化していかないので、
被災者の我々が明るい社会に向けて努力をやりつづけたいと思います。(30代 男性)